

(様式6-小・中学校及び特別支援学校小・中学部用)

平成23年4月20日

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ひたちなか市立勝倉小学校 担当教諭名 白土 恵美

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年11月11日(木) 10:20 ~ 13:00
対象学年と人数	1年生(66名)、3年生(44名)、4年生(65名)
派遣講師と出身国	リン・シャウラン(中国)、コク・ミキ(マレーシア)
活動の内容	・講師の出身国の紹介 ・ふれあいゲーム ・児童からの質問
生徒・保護者等参加者の感想	・活動がとてもおもしろかったです。もっと勉強して、中国に行きたくなりました。 ・マレーシアはすてきなところだと思いました。この勉強が好きになりました。 ・中国のお金を見せてもらいました。中国のお金は、日本のお金と違いました。
先生の感想	・コク・ミキさんは、マレーシアの国の様子をスライドで見せながら、クイズを盛り込んで展開してくださいました。そのため、低学年の児童でも、授業の最後まで興味深く注意して話を聞くことができました。質問コーナーでは、たくさんの質問が児童から出され、充実した1時間を過ごすことができました。 ・リン・シャウランさんは、中国の子供たちの遊びを教えてくださいました。児童は、体を動かしながら英語を使って遊べたことで、英語を理解できたという喜びを感じていた。言語は、コミュニケーションの一つのツールであり、お互いを知ろう、分かろうとするために大切なものであることを、これからの体験の場を通して学ばせていきたい。・お二人とも、ご自分の得意な分野、技術を生かして国の紹介をされていた。そのため、児童にとっても教師にとっても、とても魅力ある授業展開であった。我々、教師も、得意分野、技術を十分に生かし、魅力ある授業を行っていきたく感じた。

(様式6-小・中学校及び特別支援学校小・中学部用)

平成23年4月20日

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ひたちなか市立勝倉小学校

担当教諭名 白土 恵美

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年1月27日(金) 10:20 ~ 13:00
対象学年と人数	2年生(66名)、6年生(45名)
派遣講師と出身国	タスファイエ ガライエ氏(エチオピア)、オラシオ オリベラ氏(ウルグアイ)
活動の内容	・講師の出身国の紹介 ・ふれあいゲーム ・児童からの質問
生徒・保護者等参加者の感想	・学校生活が、日本と違っていたので、びっくりしました。もう少し大きくなったら、ウルグアイに行ってみたいです。食べ物も、とてもおいしそうでした。・エチオピアのことが、たくさん分かりました。民族衣装を着たり、太鼓を借りて演奏したりできました。
先生の感想	・外国の生活が分かるもの(国旗、写真、遊具などを)準備いただいて、どの学年の児童も興味をもって交流会に望むことができました。どちらの講師の方もサービス精神旺盛で、児童の関心の持たせ方が上手だった。心を込めて話して下さったり、児童の質問に丁寧に分かりやすく答えて下さったりしたので、時間はあっという間に過ぎていった。それ故、とても楽しい時間を過ごすことができました。・児童は、外国の方と直接触れ合うことで、日本とは異なる生活習慣や文化があることに気づくことができました。日本についても考えるよい機会となった。